

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
幼児理解と教育相談 Infant Comprehension and Educational Counseling	児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員 担当形態
講義	2	必修	福屋いずみ 鄭 曉琳 分担

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

### ○コアカリキュラム：幼児理解の理論及び方法

全体目標：幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。  
幼稚園における幼児の生活や遊びの実態に即して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。

#### （１）幼児理解の意義と原理

一般目標：幼児理解についての知識を身に付け、考え方や基礎的態度を理解する。

到達目標：１）幼児理解の意義を理解している。

２）幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。

３）幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度を理解している。

#### （２）幼児理解の方法

一般目標：幼児理解の方法を具体的に理解する。

到達目標：１）観察と記録の意義や目的・目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。

２）個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。

３）幼児のつまずきを周りの幼児との関係やその他の背景から理解している。

４）保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。

### ○コアカリキュラム：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

全体目標：教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。

幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎知識を含む）を身に付ける。

#### （１）教育相談の意義と理論

一般目標：学校における教育相談の意義と理論を理解する。

到達目標：１）学校における教育相談の意義と課題を理解している。

２）教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。

#### （２）教育相談の方法

一般目標：教育相談を進める際に必要な基礎知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。

到達目標：１）幼児、児童及び生徒の不応答や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。

２）学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。

３）受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。

#### （３）教育相談の展開

一般目標：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

到達目標：１）職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。

２）いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。

３）教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性を理解している。

４）地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。

### 【全体目標及び概要】

幼児の生活や遊びの実態に即して幼児の発達を理解する。  
子どもの臨床的問題について考えつまずきの要因、親子の支援について学ぶ。  
発達上の問題の把握、介入方法の仕方などについて学ぶ。

【一般目標及び到達目標】			目標対応	
			幼児理解	教育相談
(1) 幼児理解についての基本的な知識を身に付ける。 1) 幼児理解の意味と意義を理解する。			(1)-1	
2) 幼児の発達や学びについて知る。			(1)-2	
3) 幼稚園における教師の基本的な態度を理解する。			(1)-3	
(2) 幼児の理解、保護者を含めた関係者の理解。 1) 行動観察、記録の付け方の基本を身に付ける。			(2)-1,2	
2) 幼児の発達をつまずきの背景について学ぶ。			(2)-3	
3) 保護者の心理、基本的な対応方法について学ぶ。			(2)-4	
(3) 幼児教育現場での教育相談のありかたについて学ぶ。 1) 幼児を対象とした教育相談の基礎を理解する。				(1)-1,2
2) 発達の状態に応じた支援方法を身に付ける。				(2)-1,2,3
3) カウンセラーなどとの協働について学ぶ。				(3)-1,2,3,4
回数	幼児理解と教育相談 授業内容 【福屋いずみ 鄭 曉琳】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応	
			幼児理解	教育相談
1	幼児理解とは何か概要を知る	(1)-1	(1)-1	
2	幼児理解の必要性・意義について学ぶ	(1)-1 (1)-2	(1)-1,2	
3	幼児の生活状況について学ぶ	(1)-1、(1)-2、 (1)-3	(1)-1,2,3	
4	幼児を取り巻く環境について知り、その影響について理解する	(1)-1 (1)-2	(1)-1,2	
5	親子関係を中心に重要な他者との関係性が幼児に与える影響を学ぶ	(2)-2 (2)-3	(2)-3,4	
6	保育者との関係を中心に重要な他者との関係性が幼児に与える影響を学ぶ	(1)-2 (1)-3	(1)-2,3	
7	教育相談の意義と関連するカウンセリングの基礎を学ぶ	(3)-1 (3)-2		(1)-1,2, (2)-1,2,3
8	カウンセリング技術（受容・傾聴・共感）に基づく子どもとの関わりについて学ぶ	(3)-1 (3)-2		(2)-1,2,3
9	発達をつまずきとは何か学ぶ	(2)-1、2、3	(2)-1,2,3	
10	発達障害の基本について知り、気づき、対応について学ぶ	(2)-1、2 (3)-2	(2)-1,2,3	(2)-1,2,3
11	発達の問題への支援方法について学ぶ	(2)-2、(3)-1、 (3)-2	(2)-3	(1)-1、2、 (2)-1,2,3
12	保護者支援の実践を知りその方法を学ぶ	(2)-3、(3)-2	(2)-4	(2)-1,2,3
13	社会的資源について知り活用方法を学ぶ	(3)-3		(3)-1,2,3,4
14	カウンセラーとの協働について実例を元に学ぶ	(3)-2、(3)-3		(2)-1,2,3 (3)-1,2,3,4
15	幼児を取り巻く環境の今後について考える	(1)-1、(1)-2	(1)-1,2	
定期試験	実施する			
成績評価方法	授業への取り組み・講義中の発表（関心・意欲・態度・表現力）50% 筆記試験（知識・理解・思考力・判断力）50%			
テキストおよび参考文献	幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 文部科学省・内閣府・厚生労働省） 『幼児理解と教育相談』山口短期大学			
メッセージなど	幼児理解の必要性を知り子どもたちを取り巻く環境が子どもの成長にどのように影響しているのか教育、支援の実践について学んでいきましょう。			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 幼児理解の意味と意義を理解する。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	6%
	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	6%
(1)-2) 幼児の発達や学びについて知る。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	6%
	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	6%
(1)-3) 幼稚園における教師の基本的な態度を理解する。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	5%
	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	5%
(2)-1) 行動観察、記録の付け方の基本を身に付ける。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	6%
	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	6%
(2)-2) 幼児の発達のみならず背景について学ぶ。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	6%
	また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。	また、問題意識をもって講義に参加していない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	6%

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(2)-3) 保護者の心理、基本的な対応方法について学ぶ。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	5%
	また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。	また、問題意識をもって講義に参加していない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	5%
(3)-1) 幼児を対象とした教育相談の基礎を理解する。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	6%
	また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。	また、問題意識をもって講義に参加していない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	6%
(3)-2) 発達の状況に応じた支援方法を身に付ける。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	5%
	また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。	また、問題意識をもって講義に参加していない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	5%
(3)-3) カウンセラーなどとの協働について学ぶ。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験(知識・理解)	5%
	また、問題意識をもって講義に参加し、それを十分に表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加し、それを概ね表現することができる。	また、問題意識をもって講義に参加しているが、それを表現することが不十分である。	また、問題意識をもって講義に参加していない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	5%